

# 役員等報酬規程

社会福祉法人博乃会

(目的及び意義)

第1条 この規程は、社会福祉法人博乃会（以下「法人」という。）の定款第8条及び第21条の規定に基づき、役員（理事及び監事）及び評議員（以下「役員等」という。）の報酬等に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員とは、理事及び監事をいい、評議員と併せて役員等という。
- (2) 常勤役員とは、役員のうち、この法人を主たる勤務場所とする者をいう。
- (3) 非常勤役員とは、役員のうち、常勤役員以外の役員のことをいう。
- (4) 報酬等とは、報酬、賞与その他の職務執行の対価として受ける財産上の利益及び退職慰労金であって、その名称の如何を問わない。また、費用とは明確に区分されるものとする。

(報酬等の支給)

第3条 常勤役員の報酬は、別表1のとおりとし、賞与及び退職慰労金については支給しない。

- 2 常勤役員の報酬は、専従役員にのみ支給するものとし、法人職員を兼務し、職員給与が支給されている役員については支給しない。
- 3 非常勤役員及び評議員の報酬は、法人のために活動する日ごとに日額制として別表2のとおり支給する。

(報酬等の日割り計算)

第4条 新たに常勤役員に就任した者には、その日から報酬を支給する。

- 2 常勤役員が退任し、又は解任された場合は、前日までの報酬を支給する。
- 3 月の途中における就任、退任、又は解任の場合の報酬額については、その月の暦日数を基礎として日割りにより計算する。

(端数の処理)

第5条 この規程により、計算金額に1円未満の端数が生じたときには、次のとおり端数処理を行う。

- (1) 50銭未満の端数については、これを切り捨てる。
- (2) 50銭以上1円未満の端数については、これを1円に切り上げる。

(報酬の支給方法)

第6条 常勤役員に対する報酬等の支給は、毎月15日（ただし、その日が土曜日、日曜日又は祝日の場合は、法人職員給与規程に準じて支給）に支給し、非常勤役員及び評議員に対する報酬等の支給は、理事会又は評議員会への出席など法人・施設運営のための業務にあたった都度、支給する。

- 2 報酬等は、現金により本人に支給する。ただし、本人の同意を得れば、本人の指定する本人名義の金融機関の口座に振り込むことができる。
- 3 報酬等は、法令の定めるところによる控除すべき金額及び本人から申し出のあった立替金、積立金等を控除して支給する。

（費用）

第7条 役員等が出張する場合は、別に定める旅費規程に基づいて、旅費を支給する。

（公表）

第8条 当法人は、この規程をもって、社会福祉法第59条の2第1項第2号に定める報酬等の支給の基準として公表する。

（改廃）

第9条 この規程の改廃は、評議員会の承認を受けて行う。

（補則）

第10条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事長が理事会の決議を経て、別に定める。

附則 この規程は、平成29年11月1日より施行する。

別表1 常勤役員の報酬

役職	報酬の額
理事長	月額500,000円
理事	月額500,000円

別表2 非常勤役員及び評議員の報酬

	報酬の額
理事会、評議員会への出席	日額10,000円+税
監事監査報酬	日額10,000円+税